

令和5年度 清流苑事業計画

1 基本理念

- (1) 人間の尊厳を基調にして、人間愛に根ざした運営に努めます。
- (2) 自立支援を目標に、できる限り残存能力の維持・活用ができるよう支援します。
- (3) 明るく快適な雰囲気の中で、信頼と協調の心で支援に努めます。
- (4) 地域福祉の中核として、地域に定着した利用者本位の運営に努めます。

2 運営方針

西益田地区の在宅高齢者福祉サービスの拠点として、行政及び関係機関と連携を図り、高齢者及びその家族が安心・安全な生活を送ることができるように地域福祉の整備・充実に努める。

- (1) 利用者一人ひとりの自立支援を行う。
- (2) 個人情報を守る。
- (3) 認知症の知識を深め支援、介護を行う。
- (4) 身体拘束をしない。
- (5) 利用者及び家族から苦情・相談に迅速に対応する。

3 実施事業

- (1) 通所介護事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 介護予防訪問介護事業

4 評議員、役員 の 状況 (令和5年4月1日)

- (1) 評議員7名
- (2) 理事6名
- (3) 監事2名

5 清流苑職員体制 28名 (令和5年4月1日) 実員27名

(1) 本部

事務員 1名 常勤 (商業簿記 工業簿記)

(2) 通所介護事業所

施設長 (管理者) 1名 常勤 (介護福祉士) (兼) 生活相談員

生活相談員 3名 常勤 (介護福祉士 社会福祉主事) (兼) 介護職

介護職員 7名 常勤4名 非常勤3名 (介護福祉士) (ヘルパー2級)

(内1名運転手兼務)

看護師 5名 常勤1名 非常勤4名

栄養士 1名 常勤 (栄養士)

調理師	5名	非常勤
運転手	1名	非常勤（介護職兼務）
（3）訪問介護事業所		
サービス提供責任者	1名	常勤（介護福祉士 2級ホームヘルパー）
専任ホームヘルパー	3名	常勤2名 非常勤1名（介護福祉士 2級ホームヘルパー）

令和5年度清流苑通所介護事業所事業計画

1 基本方針

(1) 事業実施について

社会福祉法人西益田福祉会清流苑通所介護事業所運営規程に定めるところにより実施する。

(2) 利用者について

個別計画（自立支援のために利用者一人ひとりに合わせる計画）及びグループ計画により実施する。

ア 定員35名（1日）

イ 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化防止のために残存能力の維持向上及び自立能力の向上にこころがけ介護予防を重視する。

ウ 心身の安定を図る。

エ 認知症の予防を行う。

(3) 家族について

ア デイサービス事業を利用し、介護者の負担軽減を図り、家族等介護者が愛情をもって介護し、絆を深め明るい家庭生活ができるよう支援する。

イ 通所介護重要事項説明書により生活相談員が利用者及びその家族に説明し、理解を得てサービス利用を開始する。

ウ 上記ア、イについて、正当な理由なく一方的に契約の破棄、提供のないことを説明する。

(4) 健康管理について

ア 利用来苑時、看護師による体温・血圧・脈拍・薬の使用等の健康チェックを行い健康状況の把握に努める。

イ サービス担当者会議を行い、利用者の健康状態の把握と諸対応を行う。

(5) 事故予防と緊急事態発生の場合の対応について

ア 送迎 (ア) 始業点検、交通法規の遵守

(イ) 法定点検と2週間に1回の自主点検実施

(ウ) 車両点検簿の記録

イ 防火・防災 (ア) 年2回の避難訓練の実施

(イ) 防火防災意識の向上に努める。

ウ 保守点検の実施 浄化槽、消防用設備、電気設備及び地下タンク

エ 食中毒の予防及び検便 (ア) 施設内の清潔

(イ) 利用者及び職員の手洗いの実施

(ウ) 検便の実施 (月1回)

(エ) 衛生管理点検と月次点検

- オ 感染症対策 (ア) 利用者及び職員の手洗い、指先の消毒、うがい
歯磨き等の励行による予防をきめ細かに行う。
(イ) 協力医との連携を密にする。
(ウ) 衛生的な環境整備に努める。
(エ) 感染症が発生した場合、発症者の救援及び被害
軽減に努めるとともに関係機関に速やかに報告す
る。

カ 緊急対策 緊急対策マニュアルによる。

(6) レクリエーション的行事について

集団・個人で楽しみながら、身体を動かし精神的にもストレス解消にな
るレクリエーションを行う。

(7) 地域との連携について

施設の人的、物的資源を活用するとともに、地域のボランティアの協力
を得て地域福祉の向上を目指す。

ア 給食サービス

高齢者にふさわしい栄養のバランスを考慮した食事の配食サービスを行
う。

イ 介護者教室

介護や健康管理、在宅介護に必要な知識・技術の研修、介護ストレス
等の対応、家族及び周囲の協力要請、専門医、ケアマネ、ヘルパー、介
護職員などを交えた研修の場を持つ。

ウ ボランティアを中心に地域の人たちの協力を得て地域に開かれた福祉
活動を展開する。

(8) 職員

ア 職員研修

職員の資質の向上、技術知識の習得を図り、利用者へのサービス充実に
努めるため次の研修を行う。

(ア) 施設内研修 職員会 人権 認知 救急法研修の実施

(イ) 施設外研修 外部の研修に出席

イ 職員の健康管理

(ア) 採用時及び年1回の健康診断を実施する。

(イ) 健康維持の必要性を認識し、自己健康管理に努めるよう促す。

ウ 職員会議

職員間の情報共有を図り、円滑な事業が推進できるよう月1回会議を

開催する。

(9) その他

ア 認知症の対応について

- (ア) 尊厳を損なわない。
- (イ) 頭を使う習慣を大切にする。
- (ウ) 職員研修を行い、その人にあった対応を心がける。
- (エ) 医師及び家族との連携を密にする。

イ 虐待防止について

- (ア) 職員会議で福祉に対する意識の自覚と向上に努める。
- (イ) 適時、職員研修を開催する。
- (ウ) 利用者の身体の外傷 または外傷が生じる恐れ 心理的外傷を与える言動等がある、著しい減食または長時間放置、わいせつな行為、財産の不当な処分等虐待の事実が発見された場合は、行政機関と連携を密に取り対処する。

ウ 身体拘束について

身体拘束は、行わない。

エ 苦情対策について

苦情解決システム実施要項に基づき、利用者からの苦情に対する対応は、苦情窓口を通じ第三者委員による解決助言等を行う。

オ 地域との関りについて

- (ア) 西益田地域ボランティアの人々の協力を得て社会福祉の向上に努める。
- (イ) 法人のまつり等の行事開催時に施設を開放し、地域との触れ合いを深める。
- (ウ) 災害時等緊急避難場所として施設の開放をする。

カ 非常災害時の対応について

- (ア) 「消防計画」に基づき防火防災の意識を高め、防火防災に努める。
- (イ) 定期的に避難訓練を実施し、その結果及び反省点等を避難訓練簿に記録する。
- (ウ) 消防用設備等を定期的に点検する。
- (エ) 消防団との連携を密にし、合同避難訓練等を実施する。
- (オ) 非常災害時は、緊急時マニュアルにより対処する。

キ 危機管理について

- (ア) 部外者を無断で施設内に入らせない。
- (イ) 緊急事態時は連絡網により警察、医師及び行政機関等へ通報する。
- ク 広報の発行 定期的に広報を発行する。

2 令和5年度清流苑行事予定

月	行 事
4月	お花見（4月3日～4月7日）
5月	避難訓練
6月	
7月	七夕（短冊飾り）
8月	AED講習
9月	敬老会
10月	
11月	避難訓練 はつらつ介護支援
12月	忘年会
1月	新年会
2月	節 分
3月	はつらつ介護支援
随時	おひさまカフェの開催

令和5年度清流苑訪問介護・介護予防訪問介護事業所事業計画

1 基本方針

高齢その他の理由により、身体上または精神上の障害があり、日常生活を営む上で支障のある利用者に対して家庭訪問をし、日常生活上の身体介護、家事援助、相談及び助言を行い、在宅で安らかな生活を営むことが出来るよう次のとおり支援する。

- (1) 明るく暖かみのある優しい支援を行う。
- (2) 利用者及び家族との信頼関係を築くための支援を行う。
- (3) 利用者一人ひとりに応じたサービス提供及び支援を行う。
- (4) ホームヘルパーの資質の向上に努める。

2 対象地域 旧益田市区域

3 事業内容

- (1) 身体介護
 - ・排泄 ・食事介助、清拭 ・入浴、身体整容、服薬介助
 - ・自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助
 - ・その他身体に係わる介助サービス
- (2) 生活援助
 - ・掃除 ・洗濯 ・調理 ・買い物
 - ・その他必要な日常生活の援助
- (3) 相談援助及び助言、情報収集
- (4) 関係機関との連絡

4 職員研修

職員の資質の向上、技術知識の習得を図り、利用者へのサービス充実に努めるため次の研修を行う。

- (1) 施設内研修 定例ヘルパー会等での研修及び苑内各事業所合同研修
- (2) 施設外研修 外部研修会に出張研修

5 遵守事項

- (1) 勤務中は、身分を証する証票を携行する。
- (2) 工作中知り得た情報は、外部に漏らさない。
- (3) 訪問に変更がある場合は、原則としてその都度本人の確認を取る。
- (4) 契約書の締結、重要事項説明書の説明及び訪問日誌等その他必要な事項

を記録する。

- (5) 訪問時間は6時から22時までとし、利用者のニーズに応じて弾力的に対応する。

6 情報共有

定期的にヘルパー会議を行い、利用者に関する情報及びサービス提供の留意事項等を共有、認識するとともに訪問介護計画を生かしたサービス内容の充実に努める。

7 健康管理

年1回、健康診断等を受診し、健康管理に努める。

8 関係機関との連携

益田市、社会福祉協議会、市内老人福祉施設、市内医療機関及び福祉関係機関と連携を密にし、円滑な事業推進に努める。

令和5年度 認定こども園 神田保育園 事業計画

1. 保育・教育理念

子ども、家族、地域のすべての人が喜びと生きがいをもって暮らせるために地域に根ざした認定こども園

2. 保育・教育方針

自分らしく周囲とともに生きるための心や態度を育てる保育・教育

3. 保育・教育目標

のびのびとげんきに遊ぶ子

いのちを大切にしあえる子

(寄り添うこと)

子ども達の今ある姿、思いを受けとめ、子どもの自ら育つ力を信じ寄り添う

(遊ぶこと)

めぐまれた自然のなかで、どっぷりと遊び、心と体をはぐくむ

(食べること)

地域でとれたおいしいものを、大好きな人といっしょに食べる

(大きな家族)

大人も人と人とのつながりの中で育ちあう いっしょに子育て

(地域とのつながり)

様々な人との関わりを通して、人のあたたかさ、つながる喜びを感じる

4. 保育・教育時間

<保育標準時間認定に関する保育時間 (11 時間) >

(月～土) 7:15～18:15

18:15～19:15 1時間の延長保育

(日) 7:15～18:15 利用園児の登園時間に合わせて

18:15～19:15 1時間の延長保育

<保育短時間認定に関する保育時間 (8 時間) >

(月～日) 8:00～16:00 保護者の状況に応じて

8:30～16:30

9:00～17:00

<教育標準時間認定に関する教育時間 (6 時間) >

(月～金) 8:30～14:30

その後は延長保育で対応。

土曜日は、一時保育として対応可能

5. 特別保育事業

- 1) しょうがい児保育事業 随時受け入れ
- 2) 一時保育事業 随時受け入れ、一人につき、月15日以内
- 3) 延長保育事業 夕方6時15分～7時15分の延長保育を実施。
- 4) 休日保育事業 (ホリデー保育) 希望に応じて、日曜、祝祭日の保育を実施。
- 5) 地域活動事業
おじいちゃん・おばあちゃんの日・・・世代間交流 (園児祖父母、地域の方々)
げんきクラブ・・・異年齢児交流 (卒園児、地域の小学生)、園開放

6. その他の自主事業

- 1) 子育て支援事業
ひよこちゃんの日・・・家庭で保育している親子に、園で過ごしていただく。
たまごちゃんの日・・・マタニティの方に保育の様子、子ども達の様子を見ていただく。
- 2) 学童保育 平日の放課後及び土曜日や休み中に保育の必要な学童を受け入れ
- 3) 親子ふれあい活動
クラス単位で、親子活動を行い、親子また同年齢の家族との交流を深める。
- 4) 西益田地区保育園・小学校・中学校・養護学校との連携
(若葉・横田・梅賀山保育園と西益田小学校・横田中学校・益田養護学校・地域)
- 5) さぶみ 山のこども園 うしのしっぽとの連携
年長交流保育、職員研修合同開催など
- 6) ボランティアの受け入れ 中・高校生、地域の方

7. 情報の提供及び開示

- 1) 保護者に対して、毎月1回「えんだより」「給食だより」を、年4回「クラスだより」「ほけんだより」を発行。またホームページで園での様子や行事等の最新情報の掲載をする。
- 2) 親子行事や個人懇談等を通して園での子ども達の姿や園の思いを随時伝える。また家庭での子どもの姿、保護者の思いを知り、それぞれの家庭に応じた発信を行う。
- 3) 園の運営状況をホームページや事務室で閲覧できるようにする。

8. 主な年間行事

- | | | | |
|----|-----------------|-----|----------------------|
| 4月 | ファミリー総会&ファミリー紹介 | 10月 | かんだグランプリ・個人懇談(3歳未満児) |
| 5月 | 親子遠足&子育て講演会 | 12月 | げんきクラブ・もちつき |
| 7月 | プール開き・げんきクラブ | 1月 | どんど焼き・個人懇談(3歳以上児) |
| 8月 | おまつりごっこ | 2月 | わくわくミュージアム |
| 9月 | お泊り保育・防火訓練 | 3月 | お別れ会・卒園式・げんきクラブ |

毎月1回、誕生会、身体測定、避難・消火訓練、体育教室(年長、年中)、音楽療法(3歳未満児)などを行う。また、年2回健康診断・歯科検診を実施する。

9. 職員会及び職員研修

- 1) 毎月1回、職員会を開催(月上旬)
- 2) 職員の資質向上のため、園内研修を毎月1回実施(月下旬)
年3回は外部講師(合同会社 子どもベース 佐伯絵美氏)を招いて研修
- 3) 職員の資質向上のため、職場外の研修会等に参加する。
保育士の技能・経験に応じたキャリアアップできる組織体制の整備

11. 園児数(4月1日予定) 定員: 55名(1号:6名、2号・3号:49名)

		標準時間	短時間	教育	合計
5歳児	ぞう組	13	1	1	15名
4歳児	ぱんだ組	7		3	10名
3歳児	うさぎ組	9		2	11名
2歳児	りす組	8	1		9名
1歳児		8			8名
0歳児					0名
合計		45	2	6	53名

益田市: 40名(西益田地区: 28名 地区外: 12名) 津和野町: 13名

12. 職員構成

雇用形態	職 種	人 数 (名)	
常勤	園長	1	11
	主任保育士	1	
	副主任保育士	2	
	保育士	6	
	栄養士	1	
パート	保育士	5	8
	調理師	1	
	事務兼調理師	1	
	保育補助	1	
合計		19	